

## 取組の概要

## 対象畜種

豚、鶏

## 協議会構成員

畜産農家、宮崎県内農業協同組合、南日本くみあい飼料株式会社、宮崎県経済農業協同組合連合会、全国農業協同組合連合会（オブザーバー）  
宮崎県、J A 宮崎中央会、宮崎県水田宮農対策協議会

## 飼料用米生産面積

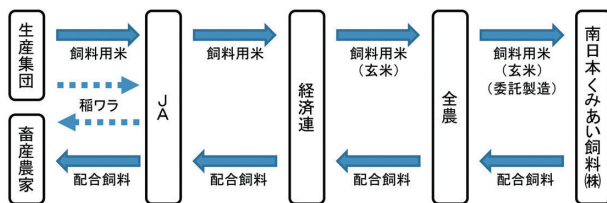
73.0ha

## 供試品種

ホシアオバ	50.0ha
北陸193号	20.0ha
モミロマン	3.0ha

## 取組内容

## ① 飼料用米の流通、保管、調製に係る実証調査



◆ 県内で生産された飼料用米（粳米）を稲作農家による自家乾燥後、フレコンバッグに詰め、保管先である飼料工場近くの低温倉庫までトラック輸送を行った。その後、保管された粳米を粳摺り業者にて全量粳摺りを行い、玄米にて低温保管を行った。

一部においては、生産された飼料用米を直接、畜産農家まで輸送を行った。

## ② 飼料用米の給与による家畜・畜産物への影響調査（畜産物の成分分析を含む）

飼料用米の性状の違いによる嗜好性、発育成績への影

響について調査。

豚、ブロイラーについては県畜産試験場にて試験を実施。採卵鶏については、県内採卵鶏農家にて試験を実施。

豚

試験設計：①肥育後期（体重70kg～110kg）に飼料用米（玄米、玄米粉砕、粳圧パン、粳粉碎）を50%混合して給与。

②肥育後期（体重70kg～110kg）に飼料用米（玄米粉砕及び粳粉碎）を10%混合して給与。

調査項目：①発育成績：一日増体量、出荷日齢、肥育期間、飼料摂取量、飼料要求率

②枝肉成績：枝肉重量、上物率、背脂肪厚、と体長、と体幅、背腰長、ロース芯面積等

③肉質：肉色、脂肪色、保水性、脂肪融点、剪断力価

採卵鶏

試験設計：配合飼料のトウモロコシ添加割合の50%を飼料用米（粳）に置き換えて給与。（飼料全体の30%混合。）

調査項目：産卵率、卵重、卵黄色

ブロイラー

試験設計：配合飼料に10%及び20%の割合で粳、粳砕粳を添加し給与。

調査項目：要求率、増体重、解体成績等

## 取組によってわかったこと

## 1. 調製・保管・流通について、次のことがわかりました。

■ 当初、粳での給与を予定していたが、玄米での給与に計画変更したため、粳摺り経費、それに係る出入庫料、横持ち輸送経費等の費用が追加発生した。

■ 道幅、置き場スペース等の問題により大型車での輸送が困難な状況があった。一元集荷を行うための一時保管が可能な仮置き場の確保等が課題として残った。

■ 流通・保管・調整経費を削減していくにあたっては、飼料用米を配合飼料原料の位置づけだけでなく、自給飼料としての観点からも検討していく必要を感じた。

## 2. 家畜・畜産物への影響について、次のことがわかりました。

豚

①肥育後期（体重70kg～110kg）に飼料用米を50%混合。